

第1回日進市立小中学校部活動地域移行検討委員会 議事録

日 時	令和6年7月24日（水）午後3時から午後4時30分まで
場 所	日進市役所本庁舎4階 第3会議室
出 席 者	加藤智、武田光史、永瀬孝明、清野雅子、内藤幹洋、宮寄友和、 中川貴弘、岡田美智、加藤智美、中川学、増田久子、松崎貞則、 川北登志雄、杉浦壮起、菅祐美子、若山諒太（敬称略）
欠 席 者	1名（萩野百合子）
事 務 局	高柳秀史（学習政策課担当課長）、河合一成（学習政策課課長補佐） 高橋雅樹（学習政策課協働活動専門員）、澤田千歳（学習政策課協働活動 専門員）
関係職員	伊藤美乃里（学び支援課主幹）、浅井清（学び支援課課長補佐） 浅井真弓（学校教育課課長補佐）、小出佐和子（子育て支援課課長補佐）
傍聴の可否	可
傍聴の有無	無

次 第

1 あいさつ

2 委員の委嘱

3 委員長職務代理者の選出

4 議題

- (1) 日進市立小中学校部活動地域移行検討委員会について
- (2) 部活動地域移行に係る国、県及び近隣自治体の動向について
- (3) 市内中学校の部活動の現状について
- (4) 部活動地域移行に係る本市の取組について
- (5) 本市の中学校部活動地域移行の課題について
- (6) 本市が目指す中学校部活動の方向性について
- (7) 今後のスケジュールについて

5 その他

(配付資料一覧)

- 1 次第及び日進市立小中学校部活動地域移行検討委員会委員名簿
- 2 第1回会議説明資料（資料1）
- 3 日進市立小中学校部活動地域移行検討委員会設置条例（資料2）
- 4 令和5年度日進市立小中学校部活動地域移行検討委員会における検討結果について（資料3）
- 5 【参考】学校部活動に関する教職員のアンケート結果（令和5年度）（資料4）

発言者	発言内容
事務局	<p>本日は、お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>ただいまより、令和6年度第1回日進市立小中学校部活動地域移行検討委員会を開催いたします。私は、学習政策課担当課長の高柳と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日、萩野委員から欠席の連絡をいただいております。中川委員はまだ到着されていませんが、17人の委員のうち、半数以上のご出席をいただいております。本日の会議は成立しております。</p> <p>始めに教育長の岩田憲二よりご挨拶申し上げます。</p>
教育長	<p>今年度から新しいメンバーが増えております。昨年度、教育委員会から検討委員会に部活動地域移行に関して諮問をさせていただきました。</p> <p>昨年度、小学校については、令和7年度末をもって部活動を廃止し、中学校については、令和6年度に検討するという答申を今年の2月に、加藤委員長からいただきました。</p> <p>今年度は中学校の検討が中心になりますが、国や県の動向を見ると、最初に旗を振った時期からはかなりトーンが落ちており、早く取り組んで進めている自治体が損をし、子どもたちが悲しむことがないように、しっかり動向を見極めながら進める必要があります。近隣市町も今、検討が進められていますが、合わせられるところは合わせ、本市の実情に合った、地域移行のスタイルができればよいと思っています。</p> <p>まずは、子どもたちが今の部活動から切り離されたときに取り残されることがないように、従来の部活にこだわらず、できれば様々な機会を提供できると良いと考えております。それに加えて先生方の働き方を進め、現場や地域と話し合いを通じて、良い形が模索できればと思っています。本日は様々な角度からご意見をいただきたいと思っています。</p> <p>本日はよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>続きまして、次第2「委員の委嘱」です。</p> <p>一部委員の改選がありましたので、新任委員の皆様には、委嘱書を机上に置かせていただいております。任期は前任者の残任期間となるため、令和6年7月17日から令和7年3月31日までとなります。</p> <p>本日は新しい委員での初めての会議となりますので、自己紹介をお願いしたいと思います。所属とお名前をお願いします。昨年度、委員長に選任されております愛知淑徳大学の加藤先生からお願いします。</p>
各委員	(自己紹介)
事務局	<p>続きまして、事務局職員ですが、お手元に名簿を配付いたしましたのでご確認ください。</p> <p>教育長につきましては、他の公務がございますので、ここで退席させていただきます。(教育長退席)</p>

事務局	次に、次第3「委員長職務代理者の選出」を行います。 委員長は加藤委員が引き続き委員として継続していただいておりますので継続となりますが、委員長職務代理者については前任の委員が退任されましたので、改めて選出する必要があります。 「日進市立小中学校部活動地域移行検討委員会設置条例」第5条第3項の規定により、委員長職務代理者は委員長が指名することになっております。 加藤委員長から委員長職務代理者の指名をお願いいたします。
委員長	小中学校長代表の武田光史委員にお願いしたいと思います。
事務局	ただいまご指名いただいた通り、武田委員を委員長職務代理者に任命します。こちらに移動をお願いします。武田委員から一言お願いします。
委員	委員長のご指名ですので精一杯、務めさせていただきます。よろしくお願いします。
事務局	それでは議事に入る前に、資料の確認をお願いします。 事前に郵送した資料は、 <ul style="list-style-type: none"> ・ 次第及び日進市立小中学校部活動地域移行検討委員会委員名簿 ・ 資料1 第1回会議説明資料 ・ 資料2 日進市立小中学校部活動地域移行検討委員会設置条例 ・ 資料3 令和5年度日進市立小中学校部活動地域移行検討委員会における検討結果について ・ 資料4 【参考】学校部活動に関する教職員のアンケート結果（令和5年度） 以上です。不足がありましたらお申し出ください。 それでは、以後の議事進行は、加藤委員長にお願いしたいと思います。
委員長	議事の進行を引き継ぎます。委員の皆様には円滑な議事の進行にご協力いただきますようお願いいたします。 本会議は傍聴が可能ですが、本日、傍聴希望者はありますか。
事務局	本日の傍聴希望はありません。
委員長	では、次第4「議題（1）日進市立小中学校部活動地域移行検討委員会について」事務局から説明をお願いします。
事務局	（資料1の1ページ、資料2、資料3に基づき説明）
委員長	ありがとうございました。事務局からの説明に対して、ご意見、ご質問等はありませんか。 （しばらくして）続いて、「（2）部活動地域移行に係る国、県及び

	近隣自治体の動向について」事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料1の2から8ページに基づき説明)
委員長	ただいまの事務局からの説明に対してご意見、ご質問等はございますか。 ないようですので「(3) 市内中学校の部活動の現状について」事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料1の9から11ページに基づき説明)
委員長	ただいまの事務局からの説明に対してご意見、ご質問等はございますか。 ないようですので「(4) 部活動地域移行に係る本市の取組について」事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料1の12から13ページに基づき説明)
委員長	ただいまの事務局からの説明に対して、ご意見、ご質問等はございますか。
委員	先ほど事務局から説明があったとおり、本校では昨年度、吹奏楽の実証事業が行われました。本校が会場になったのは、セキュリティが学校と切り離された地域開放エリアがあり、本校の教職員がいなくても地域の方に使っていただくことが可能だからです。実際に、地域開放エリア内の教室を使って楽器の練習ができました。しかし、楽器を持参しなければならないため、チューバや打楽器といったような大きな楽器を持ち込むことが難しく、中学生の中には参加したくてもできなかった子たちがいると聞いています。 また、保護者が必ず送迎していたため、子どもによっては参加できなかったという例もありました。 今後ですが、小学校の部活がなくなることを受けて、小学生の居場所作りとして、既に行っているアカデミーをジュニアバンドへ形を変えていくことができれば良いと思っています。ですが、この場合も楽器の保管場所が非常に問題になってきます。今後、中学校の部活動の地域移行を考慮すると、保管場所や土日に練習ができる場所を作っていたらとありがたいと感じております。
委員長	実証事業に実際に関わっておられるということでお話をいただきました。今年度実施予定の実証事業についてもお話いただきければと思います。
委員	資料1の13ページでも説明がありましたが、小学校は北小学校、中学校は日進東中学校で本年9月から3か月間、実証事業を行います。中学校は、本校の1、2年生の生徒が対象になっており、1週間ほど前の18日の夜に、保護者向けにアナウンスを行いました。今回は、有料で保護者負担がありますが、地域の専門的な指導者の派遣が期待できるため、できる限り協力いただくようお願いしております。明日でアナウンスをして1週間経ちますので、保護者は次の情報を期待しているの

	ではないかと思ひ、具体的な情報が届くのを待っているところです。事務局に伺いますが、保護者から何か反響はありましたか。
事務局	現時点でこちらに直接、問い合わせはありません。
委員	本校の保護者からも何も問い合わせがなく、今どのような気持ちでこれを見ていらっしゃるのかわからないので、今後 PTA 会長等にも確認していきたいと思っています。PTA 会長には、このような実証事業を行うことを事前に話していますので、実証事業が開始される一か月前には確実に詳細がわかるようにしていただきたいと強く願っています。
事務局	実証事業については、事業者と調整しており、予約についても、スマホから予約ができるようにするなど、事業がうまく進むように検討しています。1か月前までには予約に関するお知らせができるよう、金額も含め、詳細を詰めたと思っています。
委員長	他にご意見、ご質問ありますか。
委員	今回、この実証事業は、北小学校と日進東中学校が選定されていますが、どのような理由でこの2校が選ばれたのでしょうか。
事務局	まずは比較的、部活動が活発な学校であること、また、先生方とお話をする中で協力をいただけると回答を得たことで選びました。今後、どのような地域移行の手法を選択するのかは、決まっておられませんので、まずは小中学校で一校ずつ選びました。
委員長	参加費の金額はこれから検討されるということでしたが、いくらかの保護者負担を想定していますか。
事務局	昨年度の吹奏楽の実証事業では、なるべく多くの生徒に参加者していただきたいということで100円としました。 今年度も、引き続き実証事業のため、種目により変わるものの、100円から300円の間で保護者負担を想定しています。徴収方法もトラブルがないように検討し、お知らせします。
委員長	中学校については、サッカー、卓球、吹奏楽は、今の部活動にある種目、バドミントン、プログラミング、eスポーツ、茶華道は、部活動にない種目ということで、生徒の中には、サッカー部に所属している場合はそのまま継続する人もいれば、違う種目を選ぶ場合もあるという理解でよろしいですか。 多様な選択肢があり、生徒たちがどのような選択をするかは、結果が出てきたところで見えてくると思います。その結果を受けて、今後どういったものを生徒が希望しているか見えてくると思います。 私からもいろいろ伺いましたが、その他何かありますか。 (しばらくして) 特にないようですので、続きまして「(5)本市の中学校部活動地域移行の課題について」事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料1の14から22ページに基づき説明)
委員長	ただいまの事務局からの説明に対し、ご意見、ご質問等ありますか。

委員	<p>名古屋市の部活動委託業者の対応について、自分でも調べたところ、技研サービスは社内での情報共有ができなかったなどの問題があるようです。それ以外に、名古屋市と技研サービスとの間の連携や情報共有が足りなかったのかなと感じます。また、指導員を派遣する仕組み自体に無理があると感じました。</p> <p>今後、実証事業を行うにあたり、市との連携、指導員派遣の仕組みについても、この実証事業の中でしっかりと評価してほしいです。</p>
事務協	<p>先ほど話のあった技研サービスについてですが、名古屋市は元々、リーフラスという業者に委託したものの、苦情がかなり出たことから、半分の区を技研サービスに切り替えたものです。ただ、そこでも同じような苦情がかなり出てきたというのがこの新聞の記事ですが、指導者のレベルに差が生じたり、人材が集まらず、見守り程度の指導員しか来なかったりしたことが苦情につながったと聞いています。</p> <p>また、部活動の地域移行に係る全ての業務を委託すると、何千万円といった相当な金額が毎年かかることが大きな課題です。市として財政的に持続可能なのかということも含めての判断となります。長久手市はお金をかけて委託するという選択を取りましたが、日進市としては、できる限り費用を抑え、さらに地域の方の協力を得ていきたいと考えています。</p> <p>今回の実証事業では、地域で活動されている方を中心に、指導員をお願いしています。今回は事業の運営について、民間委託しておりますが、将来的にはどういう形がいいのか、実証事業を通して検討したいと考えています。</p> <p>この検討委員会の中で、実証事業の結果や、長久手市の経過を報告させていただき、長期的な目線で、委員の皆様には検討していただきたいと思えます。</p>
委員長	<p>ちなみに実証事業は民間事業者に委託するということですが、講師の選定も事業者任せることになりますか。地域の方の活用はどのようにされるのでしょうか。</p>
事務局	<p>プロポーザルで事業者を募集しましたが、業務仕様書の中で指導者については地域の指導者を活用することとしたため、事業者決定後、事業者とともに地域の団体、地域の指導者の方に赴き、指導の依頼をさせていただいているところです。</p> <p>プログラミングやeスポーツなど、一部、他自治体の指導者を願うような種目もありますが、多くの種目については地域の指導者の方をお願いをしているという状況です。</p>
委員長	<p>他にご意見、ご質問はありませんか。</p>
委員	<p>部活動の外部指導者だけでは大会に引率できないとありますが、種目によって、学校の先生以外でも引率が可能となるように指導者を任用されてもいいかなと思います。</p> <p>それから様々な形態でメリット、デメリットがあり、その中間を取る方式として、休日はクラブチームが指導し、大会等については各学校の</p>

	<p>先生が引率していくといった説明がありましたが、10年ほど前、豊明市で地域移行を進めた際、これに近い形でやっていたかと思います。これがなぜ続かなかったかという点、休日は外部指導者が教えられますが、学校の開け閉めや、生徒の安全管理の部分で先生が立ち会う必要があります、大会等も、コーチングは外部指導者であっても引率は先生が行う必要があったからです。要は、先生はトラブル対応のみを引き受けなくてはならず、それでは先生の不満がたまり、結果的に失敗してしまったのだと思います。そのため、同じような結果にならないか、若干心配しています。</p> <p>また、説明の中で市職員の事務負担の増大が考えられるということがありました。そうだと思いますが、現状は先生方が今それを全部、担って苦しい思いをしているのではないかと感じました。</p>
事務局	<p>今まで先生方がやっていたところを先生方から切り離すというのが今回の地域移行の目的の一つではありますが、切り離した部分をどこが負担するのかという点が大きい課題です。</p> <p>先行している自治体を見ても、うまく機能している自治体は少ないのが現状です。今回は、様々なパターンを提示させていただきましたが、どの方式を選択してもメリット、デメリットがあります。先生方の負担を軽くすることも一つの目的となりますので、これを踏まえて検討委員会の中でお話しできたらと思います。</p>
委員長	<p>その他、「(5)本市の中学校部活動地域移行の課題について」のところでご意見、ご質問はありますか。</p>
委員	<p>教職員の負担を軽減することと反する話になるかもしれませんが、地域連携で地域人材を採用して派遣するということで、事務的な手続きや予算が発生すると思いますが、一方で教職員の中にも条件が見合えば部活動の指導を継続したいという方が半数近くいます。先生方がボランティア的またはサービス残業的に部活動に苦勞するのではなく、地域人材派遣に予算をつけるのと同じように、先生方が部活動に充てる時間にきちんとお金を支払って働いてもらうことは可能でしょうか。</p>
事務局	<p>部活動を負担に感じてやりたくない先生がいらっしゃれば、やりたい先生もおられ、そういった先生方の思いは汲まねばならないと思います。先生の中でも例えば土日は民間クラブの指導員として参加することができる兼職兼業という制度があります。</p> <p>通常、先生方が仕事をする中で、残業時間は月45時間というしほりがあり、どこまで普段の仕事をしながら休日の活動に参加できるのかも問題となってきます。</p> <p>お金の面に関しては、兼職希望の届け出を出して土日の部活動に講師として参加していただければ、その分は当然、手当が出ます。先ほど言った残業時間を超えてしまうことが大きな課題となってきます。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>やはり教職員の負担軽減ということには反することになってしまう</p>

	ということですね。
委員長	資料を見ると、専門種目の指導ができるなら報酬に関わらず指導をしたいという人が7%、報酬が支払われて専門種目の指導ができるなら指導をしたいという人が38%、このあたりが結構いらっしゃるので、合わせて45%ぐらいの先生方がそういう専門のことができるならやりたいと回答されています。これは、全中学校の先生方の45%でしょうか。
事務局	回答率70%のうちの45%になります。ただ、全中学校へアンケートしています。
委員長	回答をいただいた中の45%ということで、自分がやりたい種目であれば指導したい方は相当数いらっしゃることになりますので、こういった先生が地域で活躍できる機会は必要だと感じます。その他、いかがでしょうか。
委員	先ほど45時間の残業時間ということがありましたが、一般企業でもコロナ前から景気が悪くなったときに従業員にアルバイトを認めることが一時期あったかと思います。一般企業でもこの45時間の残業時間の縛りがあるのか、あるいは無制限に土日に報酬をもらってクラブチームの指導員をできるのか、情報はお持ちですか。
事務局	基本的には労働基準法に関わることで、自分の周囲でボランティアとして指導する分にはよいのですが、報酬としてお金をもらって指導するという形になると残業時間45時間に含まれるとは思いますが。
委員	今のお話ですが、時間の問題よりも会社が兼業を認めているかどうかという問題の方が大きいと感じます。
委員長	そのあたり、リサーチは必要でしょうか。
事務局	色々なパターンを確認させていただきます。
委員長	事業者によっても事情は変わってくるかもしれませんが、大学は裁量労働制ですので、認められればいくらでもできます。兼業届が教授会で認められれば、非常勤やいろんな委員を手続きによって兼業できるようになっています。 では続いて、「(6)本市が目指す中学校部活動の方向性について」事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料1の23ページに基づき説明)
委員長	事務局からの説明に対して、ご意見、ご質問等はございますか。
委員	45時間の壁ですが、自分自身、部活動を見て45時間ギリギリの中で学校対応をしています。朝少し早めに出勤し、生徒の様子を見て、帰りにいろいろ話を少し聞いてから帰ると45時間はあっという間です。これで土日に何らかの活動をすれば、45時間は確実に超えるのが教職員の現状です。実際、一般企業の方も難しいのではないのでしょうか。 先進的に取り組んでいる春日井市でも教職員の兼職兼業に関しては、苦慮していると聞いています。長久手市も兼職兼業を9月から認めたいが、この45時間の壁をどうやってクリアするかで悩んでおり、先

生たちを休日の部活指導をお願いしにくいと聞いています。この部分を調べていただいて、ある程度クリアできる方法があればと思っています。

また、吹奏楽については活動場所が問題になるという話がありました。私は市民会館の駐車場をうまく使えないかという話をさせてもらいましたが、市街化調整区域にあるため、基礎を立ち上げるような建物は建てられないという話でした。先日、おりど病院に健康診断に行った際、ブロックを積んだ上にコンテナハウスが建っており、エアコン設備もあり、聞いたら職員の休憩室ということでした。本校の教頭が吹奏楽に詳しいので聞いてみましたが、パート練習ならできるのではないかというので、駐車場にコンテナハウスを置いて練習できたらいいなと思いました。

また、西小学校で、建て替えについて検討がされていると聞きました。近隣市町では、瀬戸市、春日井市、豊明市が児童生徒の減少に伴い、小学校をいくつか統廃合した事例があり、廃校になった学校を今、地域の施設として活用しているという話も聞いています。

もし西小学校が新しく同じ場所に建て直すのであれば、先ほど話題になったセキュリティを上手に分けてそこで活動ができるよう、また楽器を置ける場所を作ると何年後かにこの問題を解消できるのかなと思います。また、残った学校を上手に地域の方で開放するようにするといったことも考えていただければと思っています。

私事になりますが、ずっとバスケットボールをやっており、若い頃はクラブチームで一宮や刈谷の大会に出ていました。一宮はクラブチームの大会ですが、運営は先生ではなくクラブチームの代表者等が集まって運営をしていました。そこに小中学生が入ってきて中学生の部といったものができる、先生が関わらなくてもそのクラブチームの中学校のチームとして参加でき、運営も可能になるのかなと思っています。将来的には、地域移行したクラブチーム等で大会運営もやっていけるのではないかと感じています。近隣ですと、豊明市で先日、新設のソフトテニスボール大会がありましたが、運営は豊明市の協会の方がやられており、教員は関わっていませんでした。

昨年度まで勤務していた日進西中学校では、野球部が休部扱いになっていますが、実情は全く活動していないし、募集もしていません。4年前は大会に出場し、3年生が引退した段階で残ったのが2人か3人で、さらに残った生徒はシニアリーグに所属していたことから、大会には出られませんでした。そのため、翌年から休部となり、野球部は実質、活動していない状況となりました。やりたい生徒は、シニアリーグで活動しており、高校からもそういった子に声かかっているという現状です。

野球以外では、日進西中学校のバレーボールやソフトテニスも強いですが、保護者の支えが大きく、平日の夜、保護者が会場を確保し、外部指導者を呼び練習しています。土日どちらかしか練習できないため、別の1日は外部指導者を呼び、保護者が中心となって練習していま

	<p>す。</p> <p>同じく吹奏楽も非常に強いのですが、平日の夜や休日に公民館などを借りてそこで活動しており、保護者主導でどんどん全国を目指して頑張っているような現状があります。</p> <p>この現状を上手に整理していくと全国を目指したい、プロを目指したいといった子に対して、活動の機会が提供できるのではないかと思います。また、日進市は名古屋市に隣接して人口が多く、様々な種目のクラブチームがあり、全国大会を目指しています。</p> <p>それであれば、市としては、全国とかプロとかは言わないまでも、野球をやりたいと考えているような子の活動機会をどのように作ってあげるのかを考える必要があると感じています。</p> <p>先日も東海北陸の中学校校長が集まる会がありました。ほとんどの地域では、人口が減り、学校運営そのものがまならない、統廃合しないとやっていけない、そんな中で部活をどうしようかという話をしていました。幸い、この地域は人口が増加していて、多種多様なクラブチームが存在しているので、この状況を上手く活用し、また専門的でなくても何かしたいという子どもたちの活動機会を作れたらと思います。</p>
事務局	<p>西小学校の件ですが、現在、校舎の老朽化がかなり進んでおり、市内で一番古い。ため、建て替えするという事で検討を進めていますが、具体的な話はこれから検討する状況です。先ほど委員からもありましたが、梨の木小学校は地域開放を前提として建物が造られています。新しい学校では最初から専用部分を地域で使ってもらえるようにエリア分けした建物とすれば、ニーズに対応できると、今のお話を伺っていて思いました。</p> <p>民間のクラブチームや、スポーツ協会に所属している団体も含め、市内にはクラブチームがたくさんあります。市内で新たに何か地域クラブを作るというよりは、現在活動している団体をうまく活用していくことで、クラブチームにとっても部活動の地域移行が一つの起爆剤になりうるかもしれません。</p>
委員	<p>活動中のクラブチームについてお話しします。我々レクリエーション協会も加盟団体がいくつかあり、先日の会議で、部活動地域移行を進めた際に、団体で受け入れ可能かどうか聞いてみました。</p> <p>協会の中では、ゲートボールが赤池小学校を使って活動していますので、地域移行の際には受け入れ可能です。また、ソフトバレーボールの団体が親子でやるソフトバレーを20年以上続けており、親子で参加する場合であれば受け入れが可能であると回答がありました。その他の団体については、子どもだけを受け入れるのは難しいということでした。</p> <p>団体と話をする中で、活動拠点として学校開放やスポーツセンターを使っていますが、子どもを受け入れることになった場合、子どもがどれぐらいの規模で参加されるかが一番心配です。</p> <p>また、受け入れても、協会本来の活動ができなくなるのが懸念され</p>

	<p>ますが、学校開放の夜の枠を専用に使わせてもらえるなどのメリットがあれば、こちらとしても検討の余地があります。参加費についても、今の参加費と同程度で設定可能であれば受け入れることができるといった意見もありました。</p>
事務局	<p>中学校の議論が中心ではありますが、小学校、中学校共に、色々な体験活動をする機会を確保していくところが一つの大きな課題です。また、こういった形で進めるのが両者にとって良いかについては、ご相談させていただきながら決めさせていただければと思います。</p>
委員長	<p>他にご意見、ご質問が無いようですので、続いて、「(7) 今後のスケジュールについて」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料1の24ページに基づき説明)</p>
委員長	<p>ありがとうございました。 事務局からの説明に対して、ご意見、ご質問等はございますか。ないようですので、続いて、「その他」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>次回、第2回日進市立小中学校部活動地域移行検討委員会につきましては、12月ごろの開催を予定しておりますが、開催日時、場所等につきましては改めてご連絡させていただきます。以上です。</p>
委員長	<p>本日予定していた内容は終了しましたので事務局へお返しします。</p>
事務局	<p>各委員のみなさま、長時間にわたりありがとうございました。 以上をもちまして、令和6年度第1回日進市立小中学校部活動地域移行検討委員会を閉会させていただきます。 大変お疲れ様でした。どうもありがとうございました。</p>